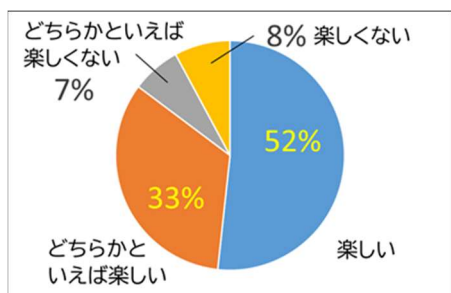


生活アンケートの結果

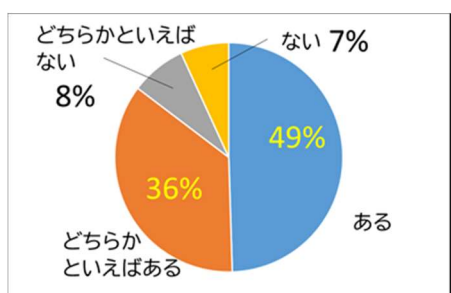
1学期の終わりに、全校児童対象に行いました「生活アンケート」の回答状況についてお知らせします。

学校に行くのは楽しいですか



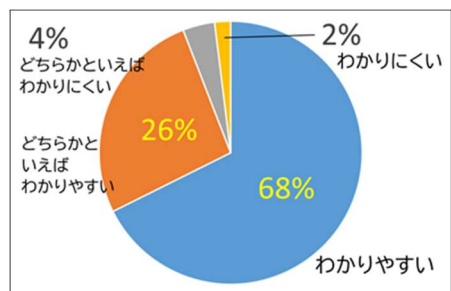
多くの児童が肯定的ですが、そうでない児童もいることをしっかり受け止めます。先生方は子どもの表情を見て、気になる様子があれば声かけをしています。何か困ったことがあって楽しくないと思ったときには相談できるといいですね。スクールカウンセラーさんも活用してください。次の来校日は9月20日(金)です。

自分にはよいところがあると思いますか



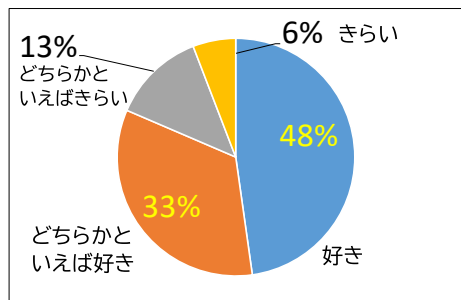
自分にはよいところがないのかな、と思っている児童は、自分に自信がもてていないのかもしれませんが。学年によって、その割合に違いがありますが、学校生活において、何かしら自信がもてるような活動が見つけれられるよう、学校ではいろんな活動を取り入れていきます。

パソコンを使った授業はわかりやすいですか



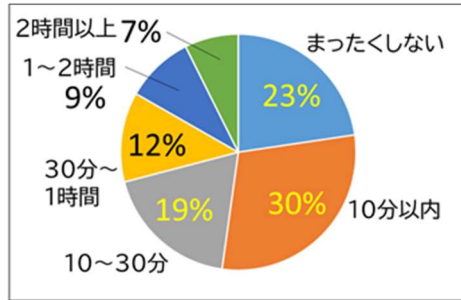
昨年度調査とほぼ同じ結果となっています。日頃の授業でパソコンを使うことが当たり前になってきていますが、操作に戸惑うために、分かりにくいと感じている児童もいるようです。しかし、これからの時代には必ず必要なスキルなので、ゆっくりでもいいので慣れていってほしいですね。

読書は好きですか



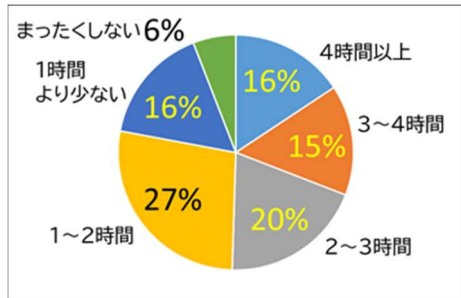
昨年に比べると、「好き」を答えた割合は増えていますが、逆に「嫌い」「どちらかといえば嫌い」の割合も増えていることが気になります。学力調査の結果で「読む力」が課題となっています。自分の好きな分野の本でいいので、今のうちにたくさん本を読む習慣をつけておくと、将来必ず役に立ちますよ。

1 日あたり、マンガ・雑誌・教科書・参考書以外の読書の時間はどれくらいですか。



昨年と比べると、「まったくしない」割合が増えています。やはり、読書があまり好きではない子どもが増えていることと関連しているようです。「まったくしない」ではなく、毎日でなくてもいいので、本を読むことを面倒がらないでほしいと思います。

学校のある日、家に帰ってからゲームをしたりテレビを見たり携帯を使ったりする時間はどれくらいですか



画面を見ている時間、いわゆるスクリーンタイムは、学年が上がるにつれて、2時間以上の割合が増えています。この時間が少しでも読書の時間になるといいんですが・・・スクリーンタイムが悪いわけではありませんが、長すぎるのはやはり成長中の子どもにとっては、考えものではないでしょうか。

今回のアンケート結果の学年ごとの結果は、各担任の先生と共有しています。それぞれの学年の特徴を表しているとも言えますので、先生方の子どもたちへの働きかけに大いに参考にしています。2学期末にも同様のアンケートを行い、その都度結果の変容を見ながら、子どもたちを見守っていきたいと思います。

「読む力」を伸ばしましょう

前回の学校だよりで学力調査の結果について載せましたが、その中で問題文をきちんと読み取れていないために、ある程度は書けているものの条件を満たしていないので解答が不十分として間違いになっていたり、単なる凡ミスをしたりする児童が多いことについてお知らせしました。実は昨年にも全く同じことを学校だよりでお知らせしています。そして、今回載せました生活アンケートの結果からは、昨年度に比べて全体的に読書量が少ないことがわかってきました。「読む力の低下」と「読書量の減少」の間には、因果関係があることも指摘されています。

昨年の学校だよりでも載せているのですが、Youtube や tiktok といった動画コンテンツが普及していて、文章を読む機会が失われてきています。このような動画コンテンツだと、耳から入ってくる情報だけになってしまい、文章を理解する機会が減っていることになっています。いわゆる「活字離れ」ですね。

こういった時代背景は変えることはできませんし、動画コンテンツを楽しむことも決して悪いことではありません。しかし、それと同時に小説や新聞あるいは教科書といった活字を読んで楽しむこともあわせていってほしいなと思います。また、宿題で出される「音読」をていねいに行うこともとても有効です。この点について、ご家庭でもお子さまにお話しただけるといいのではないかと思いますので、ぜひよろしくお願いします。

